

ささえあう街・もりや

地域のニュース

Vol. 04

平成30年3月号

例年になく寒い冬も終わり、早春の花がちらほらと芽を出していますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。平成24年度に始まった地域福祉活動計画は5年を経て、平成29年度からの第2期初年度を終えようとしています。守谷地区実行委員会では、「支え合う」をキーワードに、あいさつ運動・ボランティア活動・シニアイベントなどいろいろな活動を行ってまいりました。この1年間の活動実績を皆様にお知らせしたく、第4号を発行いたします。

地域福祉活動計画の報告

- 基本理念: 住みなれた地域で、安心して住めるようお互い支えあおう
- 活動のモットー: 活動の始まりはあいさつから

地区活動目標	主な対応策(ブロック毎に異なります)
市民がより多く参加する機会を作ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・5月と10月にあいさつ運動強化活動を行いました。 ・敬老会や昔遊びイベントを開催しました。
市民同士のかかわりや意識の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会役員会などで、地域福祉活動計画の説明を行いました。
地域にあった情報発信をおこないます。	<ul style="list-style-type: none"> ・わくわく亭等のいこいの場拡大を図りました。 ・ボランティア・サークル設立と活動を応援しました。
地域で活動できる人材を発掘します。	<ul style="list-style-type: none"> ・団体間連携と情報共有を行いました。 ・地域情報誌を発行しました。

成果と今後の課題(概要)

- 地域福祉活動計画は絆作りを重点として活動した結果、地区やブロック内の横のつながりが少しずつ深まってきています。
- 高齢者など弱者への見守りと生活支援が課題ですが、取組が遅れています。
- 市から「まちづくり協議会」設立の提案があり、地域としての対応を協議しています。

守谷地区地域福祉活動計画メンバー一覧(実行委員・編集委員・他)

Aブロック: 荒川かつ子、佐野シズエ 入江かおり(広報委員)	Eブロック: 飯島安廣(副代表)、井出恵(広報委員) 社会福祉協議会(社協) : 高橋啓子
Bブロック: 飯塚國雄、有原 勉(広報委員)	守谷市役所(行政)相談役: 山中 毅
Cブロック: 下村文男、佐藤洋子、斉藤巖(広報委員)	連絡調整員 : 高橋弘人、飯塚敏雄
Dブロック: 亘理達(代表、広報委員)	

平成29年度 地域福祉活動計画助成金

名称	金額(円)	備考
地域福祉活動計画の広報	300,000	広報紙、ポスター制作、イベント案内
わくわく亭の拡大	194,000	イベント備品、保険、指導謝礼
ボランティアグループ支援	74,000	機材倉庫収容能力の向上
地域福祉活動計画のPR	56,000	プロジェクタ用スクリーン購入
プレイパークの活動充実	60,000	イベント備品、保険、パンフレット印刷
地域協働活動支援	95,000	花壇用看板制作
あいさつ運動啓発用看板補修等	210,000	既存品の劣化修理と追加設置、 会場設営、炊き出し訓練用食材
小山夏祭り	79,000	
地域・世代間交流事業	70,000	昔遊び道具、整理ケース
シニアの集い	58,000	参加賞、講師謝礼
地域福祉活動関連の団体支援	72,000	プロジェクタ
合計	1,268,000	予算1,370,000

わくわく亭

「わくわく亭」は地域住民間の交流による仲間づくりを目的に、飲み物とお茶菓子をを用意し井戸端会議の雰囲気を提供する場所です。平成29年度は4月から3月まで6回行い、平均62人という大勢の皆さんにおいでいただきました。高齢者同士だけでなく、子どもたちも含め、交流しながら大いに楽しんでいただきました。



太極拳に皆が参加



井戸端会議中



名人戦



きぬ看護専門学校
生徒がスタッフ
として参加、
リハビリ体操指導



タンポポで風車
作り(ベルデ)



オセロにも挑戦



ドッジビー



ラベンダースティック作り

わくわく体操

昨年11月から始めたシニア向けのわくわく体操は今年度末で7回目となりました。春秋にはわくわく亭の一環として屋外で、夏冬は守小コミュニティスペースで行っています。

インストラクタによる丁寧で元気のある指導を受けながら、ストレッチと筋トレを行っています。自宅での自主体操の記録冊子（貯筋通帳）を配り、運動の習慣づけも働きかけています。



あいさつ運動キャンペーン

5月と10月の早朝、学校近くや駅など15カ所であいさつの声かけを行いました。住民同士が声をかけ、顔が見える関係を作ることで、地域のつながりを強めることを目指しています。常日頃、道ですれ違う時には、あいさつを心がけましょう。さつき台町内会では、《朝の一時、身体を動かし元気にスタート》あいさつ運動キャンペーンに出かける前に公園に集合し、ラジオ体操を行っています。カードにスタンプを押していただき、時には収穫した野菜や果物、寒い時期には甘酒が振舞われ楽しみになっています。



食生活改善推進員よりアドバイス

10月に生涯骨太クッキングとして、お揚げとねぎの卵とじ丼他2品を作りました。来年度も計画しますので是非ご参加を！

毎日野菜をプラス一皿！
小皿1皿分[約70g]ふやそう

野菜摂取の目標量350g
(1日あたりの推奨量)

茨城県民の現状約280g
(平均野菜摂取量)

脳トレクッキング

守谷市民大学で学んだメンバーで立ち上げた、脳トレクッキングも、3年たちました。メンバーは13~17人で活動しています。レシピのレクチャー・買い物・調理と、手際がよくなりました。友達から友達への口コミで参加者が増えています。歩いて行ける距離にある自治会公民館で活動ができないか考えています。



【ブロック毎の活動報告】

Aブロック 小山町内会

小山町内会では、小山をよく知るための広報誌『知ってる・小山』を年数回発行しています。身近な地域情報を発信しています。嬉しいことや楽しいこと新しい発見、歴史等をみんなで共有しています。『赤ちゃん』紹介コーナーでは、地域で子育てを応援します。



奥山新田・奥山本田・辰新田地区「シニアのつどい」の案内

身近な地区で集まる機会をつくり、地域のつながりを強めることを目的に開催します。みなさんぜひおいでください。対象地区の65歳以上(原則)の方はぜひご参加ください。心穏やかな音色に心を癒し、身体と頭を少し刺激して細胞を活性化する等の楽しい時間をいっしょに過ごしませんか。

日時:平成30年3月20日(火) 10時~13時 場所:奥山本田公民館

Bブロック

栄町町内会 駅前東口美化・活性化活動

駅前東口の美化と活性化を目指して、本年度より新たに以下の市民活動に取り組みました。

- ①東口駅前植栽マスの花植と管理
- ②東口ロータリー樹木へのイルミネーション飾り



駅前東口植栽6月~10月



駅前東口イルミネーション12月

松並フェスティバル



清水町内会 故郷ふれあいまつり



松並フェスティバル

11月12日に北園町内会、松並青葉西町内会、松並青葉東町内会、レーベン守谷 THE BRIDGE自治会が共同で第4回松並フェスティバルを開催しました。松並東自治会館広場に大勢の新旧家族が集い、Bブロック所有の遊び道具を使った昔遊びや屋台コーナー、大抽選会で親睦を深め、大盛況のフェスティバルとなりました。

清水町内会故郷ふれあいまつり

8月には恒例の清水町内会故郷まつりを、花火・流しソウメンなど盛りだくさんの趣向で、大勢の皆さんに楽しんでいただきました。



2017 08 05



2017 08 05

Cブロック 松ヶ丘小での昔遊び指導

平成30年1月、「昔遊びの指導」(写真は「あやとりとめんこ」)は、小学1年生全員の元気な挨拶から始まり、全員が意欲的で真剣に取り組んでくれましたので、指導員は大満足。「昔遊び」の良いところは、遊ぶことによって心身や頭脳が自然に鍛えられることで、児童がこれを機に何かを得てくれればと願うところです。



Dブロック ひがし野地域連絡会議

今年度は5月と2月の2回会議を行いました。第一回には24人(13の団体・守谷市・社協)の皆さんの参加を得て、自己紹介と団体の活動状況紹介をしていただきました。更に団体間の連携のために、個人情報への順守を約束していただいた上で名簿を配布しました。2月は年間の活動報告をしていただきました。



老人クラブ(ひがし野会)老人クラブ黒崎さん功労賞受賞

9月の茨城県老人クラブ大会(県民文化センター)において、老人クラブ(ひがし野会)の黒崎時雄さんが、会長として永年にわたり老人クラブの活動を積極的に推進されたことが評価され、功労者表彰を受けられました。

(注)黒崎さんは老人クラブ(ひがし野会)の会長を10年以上務め、併せて平成26年度からは守谷市シニアクラブ連合会の副会長や市の福祉関係の公職も務めておられます。



郷州沼崎線花壇90ヶ所への花植え

ひがし野町内会・ブランドシティ守谷自治会・サーパス守谷自治会に、ウエルシアやアイデア(美容室)の皆さんも加わっていただき、6月と12月の環境美化の日に花苗(マリーゴールド・パンジー)を植えていただきました。夏場は花植え担当の方・GES等の皆さんに水やりや除草作業をしていただきました。



Dブロック ティーパーティ

6月におちゃやばし公園でGES(グリーン・イスト・サポーターズ)主催のティーパーティを行いました。プロムナード水路沿いのラベンダー園(通称:モカテラ)のラベンダーを刈りとり、サッシュの香袋を作りをしました。事前にボランティアが焼いたラベンダー入りクッキーをお供にラベンダーの香りを楽しんでいただきました。さわやかな気候の中、楽しいひと時を過ごしていただけたかと思えます。



守谷ひがし野プレイパークの会

プレイパークは、子ども達が自然の中で心と体を使って自由に遊べる広場で、(冒険遊び場とも呼ばれます。北園森林公園で毎月開催しています。「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに、木登り・穴掘り・火おこし・物を作ったり壊したり、自分達で遊びを作っています。

フェイスブックで情報発信を始めました

ハッピーひがし野では、昨年11月からフェイスブックにホームページを作り、イベントの案内や報告の発信を行っています。「ハッピーひがし野」で検索すると出てきますので、アクセスしてみてください。



f ハッピーひがし野 🔍

ハッピーひがし野は、守谷市内の地域福祉活動計画実行委員会のひとつで、守谷地区Dブロックの受託です。

メンバーはひがし野地区の民生委員・町内会/自治会代表・ボランティアグループ代表等で、事務窓口は社会福祉協議会が担当。

活動開始は平成24年度。平成29年度に第二期に。お互い支え合う関係づくりを目的に、団体間の横ばりになっています。

地域の皆さんによるワークショップの結果をもとに、メンバー間で話し合いながら活動内容を決めています。福祉の枠にとらわれず、まちづくり活動を行っています。

Eブロック 上若自治会

上若自治会は全55世帯、4班に分かれている自治会です。年に1度、親睦を兼ねてBBQ大会を開催しています。毎年100人以上の方に参加していただき、肉が焼けるのを持ちながら一大イベントであるビンゴで、ビンゴカード片手に出てくる数字に一喜一憂しながら盛り上がりま

みんなの地域、マナーを守ろう！

守谷小学校を囲む道路に、看板を取り付けてもゴミや犬の糞がたびたびそのままに放置されています。校長先生は毎日のように、周辺を見回りゴミを拾い、糞を子供たちが踏まないように始末を下さっています。頭が下がります。マナーを守り、みんなで地域をきれいにつかいましょう！



【特集：敬老会】

平成29年度から、市主催の敬老会がなくなり、地域ごとに行うことになりました。開催された敬老会のうちいくつかの様子をご覧ください。初の試みで幹事の皆さんは大変ご苦労をされたと伺いました。来年度はこの経験をもとに、拡大をよろしくお願いいたします。

Aブロック



Bブロック 原本町



Cブロック 老原町・中央・旭町



Cブロックの敬老会は三会場で開催され、「世代間ふれあい交流会」として幼児や少年少女の力も借りての幼老児童会のような賑やかなイベントになりました。全員が80歳以上の元美女達のフラダンス、伝統を引継ぐ少年少女による御神楽の芸の披露などは、地域の中で活躍している人達からのプレゼント。またお子さん達からお祝品の贈呈を受けるなどして、老人達の笑顔は一日中はじけていました。



Cブロック 高砂町

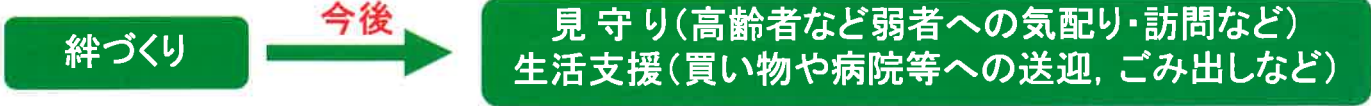


Cブロック 土塔三町・さつき台



【地域福祉活動計画における今後の課題】

新たな課題-1 地域包括ケアシステム／見守り・生活支援への取り組み



日本は諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行し、守谷市においても同様な状況です。厚労省では、団塊の世代が75歳以上となる2025年までに地域包括ケアシステムを構築し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、各自治体に対し仕組みづくりを求めています。守谷市においても仕組みづくりに取り組んでいるところです。



新たな課題-2 地域福祉活動計画から「まちづくり協議会」に発展・拡大

まちづくり協議会の活動の流れ(市の提案、一例)

〈仕組みの理解〉
地域の複数自治会・各団体・事業者等が構成する「まちづくり協議会」が、地域内の様々な課題を集約して協議・意思決定し、解決策を市に提案あるいは地域内で調整することによって実現を図るものと、市の提案を理解しました。

〈実行委員会での対応〉
以下の効果と問題点を念頭に、取り組みの方向を協議中です。

- 効果**
- ✓ 地域課題の早期解決
 - ✓ 行政の効率向上・経費削減

- 問題点**
- ✓ 協議会の業務量が膨大
 - ✓ 地域内での人材確保困難
 - ・ 年替り自治会役員で対応できるか?
 - ・ シニア層人材に限界があるのでは?

